



報道関係者各位

2014年11月7日

海の恵みへの感謝祭 かまぼこ奉納

2014年11月15日(土) 午前9時より 場所:生田神社

カネツデリカフーズ株式会社（本社：神戸市東灘区、社長：村上健）では、魚肉練り製品の主原料である魚をはじめとする海の恵みへの感謝とより一層の魚肉練り製品の需要拡大を願い「かまぼこの日」にあたる 11月15日(土)に生田神社(神戸市中央区)にて、かまぼこの奉納を行います。

【11月15日はかまぼこの日】

「かまぼこ」が初めて文献に登場したのが、1115(永久3)年の関白右大臣藤原忠実の祝宴の膳の図に描かれていたものとされていることから、1115年にちなみ11月15日をかまぼこの日としました。

来年2015年が、「かまぼこ」が文献に初めて登載に登場したとされる平安時代の1115(永久3)年から数えて **900年の節目**にあたります。

【かまぼこ発祥の地 “生田の森”】

かまぼこの起源は、神功皇后が旅の途中で神戸・生田の森(生田神社)で、すりつぶした魚肉を銚の先に付けて焼いて食したという伝説があることから、かまぼこ発祥の地とされる神戸市の生田の森・生田神社で感謝祭を行います。

農林水産省の発表によると、平成24年度の水産練り製品生産量は約47万トンと30年前に比べて約半分の量にまで大きく落ち込んでいます。当社は、日本の伝統食品である練り製品を守ると共に、魚離れが進む若い世代の方に高たんぱく・低カロリーの食材である練り製品の魅力を伝え、もっと身近に感じてもらいたいと考えています。

かまぼこ奉納を行う11月15日(土)は、「かまぼこの日」であると同時に「七五三」の日でもあることから、生田神社境内にてカネツデリカフーズのキャラクター「てっちゃん」が子供たちと触れ合うイベントも予定しています。



▲文献に初めて登場するかまぼこ
1115年(永久3年)の祝膳の一部
全国かまぼこ連合会HPより
引用:「かまぼこの歴史」(清水亘著)
日本食糧新聞社



▲生田神社



▲生田の森



▲カネツデリカフーズのキャラクター「てっちゃん」

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

カネツデリカフーズ株式会社 マーケティング室 加藤・高浦
TEL 078-857-3918 FAX 078-857-3971